

令和5年度第1回京丹後市観光立市推進会議 会議録

- 1 開催日時 令和6年2月22日（木）午前9時30分～
- 2 開催場所 京丹後市役所峰山庁舎 201・202会議室
- 3 出席者等 坂上英彦会長、田中智子副会長、和田正人委員、日達ゆみ子委員、今井みどり委員、丸田智代子委員、中川秀雄委員、山口洋子委員、味田佳子委員、上田美知子委員、松尾信介委員、田矢佳子委員、伊豆田千加委員、谷口正郎委員、大亀一穂委員、前田将汰委員、小笹俊太郎委員、久田千恵子委員、

事務局 (一社)京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部 木村嘉充
(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部 中山彰人
京丹後市商工観光部長 高橋尚義
〃 商工観光部観光振興課 大江裕、木本貴文、山添力也、
上羽克、林有彩

市関係部局 農林水産部農業振興課 松下幸弘
(zoom参加) 農林水産部海業水産課 磯田新也
教育委員会生涯学習課スポーツ推進室 下戸裕子
- 4 議題及び会議の公開又は非公開の別 【公開】
第4次京丹後市観光振興計画に基づく観光振興施策の検討について
「浅茂川温泉静の里を活用した観光振興」について
検討部会の設置
ロードマップについて
- 5 傍聴人の数 なし
- 6 発言の内容（要旨）
<高橋商工観光部長>
定刻となりましたので、始めさせていただきます。
まだ数名お越しいただいてない方もおられますけれども、ちょっと先に、時間になりましたし、始めさせていただきます。
本日は大変お忙しいところ、また急なご案内にも関わりませず、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。
ただいまから、令和5年度第1回京丹後市観光立市推進会議を開催させていただきます。
私、本日、全体進行させていただきます商工観光部の高橋と申します。
どうぞよろしくお願いをいたします。ちょっと着座で進行させていただきます。

まず会議に先立ちまして、本推進会議の委員の方のうち、4名の方が所属団体内でのご異動によりまして、交代をされております。

京丹後市観光立市推進条例第26条第3項に基づきまして、前任者の残任期間として、新たに、委員委嘱をさせていただきたいという風に思います。

まず一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部地域本部長の田中智子様。京丹後(有)おかみさんの会座長の日達ゆみ子様。公益社団法人丹後地域地場産業振興センター専務理事の鎌田誠様、一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社総合企画局長の亀谷義忠様、以上の4名でございます。

それでは、委員を代表いたしまして一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部の地域本部長である京丹後市観光公社理事長の田中智子様に、中山市長から委嘱通知をお受け取りいただきたいと思っております。

田中様、中山市長、前の方にお進みいただきたいと思っております。

— 委嘱通知書交付 —

ありがとうございます。

どうぞよろしく願いをいたします。

それでは、お席の方をお願いいたします。

その他の委員の方におかれましては、時間の都合上、略儀で大変失礼でございますけれども、委嘱通知書をお手元の方に置かせていただいておりますので、ご確認をいただきますようお願いをいたします。

委員の皆様ごの任期につきましては、令和6年9月30日までとなりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは、本日の出席者のご紹介ですが、時間の都合上、お手元に配付の配席図をご確認いただくことで、代えさせていただきます。

本日、少しグループでお話をいただくような場面を作っておりますので、いつもと違う席の配置となっておりますことをご了承いただきたいと思います。

本日ご欠席の、浅田様、松本様、濱口様、坂根様、鎌田様、飯島様、秋田様、桐村様、亀谷様の合計9名でございますけれども、委任状のご提出をいただいております。

従いまして、本日のご出席については、委任状を含めまして、27名となりますので、委員定数の半数以上を満たしております。

条例第28条の第2項によりまして、会議が開催できますことをご報告させていただきます。

次に、今回の委員交代によりまして、副会長が欠員という形になってございます。

条例第27条で副会長は委員の互選となっておりますが、立候補またはどなたかご推薦ございますでしょうか。

ないようでしたら、前任の齊藤副会長、いわゆる観光公社の理事長だった方ですが、前任の齊藤副会長のご後任となられます観光公社の田中理事長にお願いしたいと思っておりますが、皆さんご異議ございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり。)

ありがとうございます。

ご異議なしということですので、副会長につきましては、田中様にお世話になりたいと存じます。

それでは田中様前方の席の方に、恐縮ですけど、ご移動お願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、本日の会議の開催趣旨も含めまして中山市長の方からご挨拶を申し上げます。

<中山市長>

皆さんおはようございます。

中山でございます。一言ご挨拶申し上げます。

今日は令和5年度第1回となります。京丹後観光立市推進会議ということで、お忙しい中お集まりを賜りました。本当にありがとうございます。

とりわけ、坂上先生におかれましては、遠路ですね、お越しいただきまして本当にありがとうございます。

さて、この観光ということでもありますけども、コロナの中、本当に大変な状況に直面をしていたこの数年間ということでもありましたけども、昨年5月にですね、コロナの法律上の位置付が緩和をされて、日常化がいろんな分野で戻ってきているというような状況の中で、観光についてもお聞きをすると、昨年の秋は、コロナからの落ち着きに伴って、概ね、コロナ前の水準をですね、入込確保をしつつあるというような状況で、消費額としては、超えるような状況も出てきているという風にお伺いしております。

今年に入って、少し盛り上がりも落ち着きつつあるような状況も見えるということでもありますけども、昨年、この会議を中心に、第4次観光振興計画を策定いただいて、海・森・里山、つながりの郷ということで、これをテーマに、皆様初め、市民をあげて、観光の推進に取り組んできていただいたおかげかとも思いますし、引き続きですね、観光立市を掲げる本市として、観光の推進を、全面的に頑張っていくといけないというふうに思っております。

来年には、万博も控えてですね、大阪観光局との連携で、ヘルスツーリズムを中心に、通年型の観光で、ますます盛り上げてやっていこうというようなこともスタートしてきますし、また、今、山陰近畿自動車道の峰山までの延伸、頑張ってお工事して下さっていますけども、さらに網野あるいは、久美浜町の県境までの全線ルートの決定もですね、ルート案が示されて、全線を令和10年代には、完成すべくやって欲しいという思いを受けとめていただいて、様々なそれに向けての取組も、いろんな形で進みつつあるというような状況の中で、ますますお力をいただきながら、盛り上げてやっていけないといけないというふうに思っております。

その上で、今日はですね、静の里なのですけども、これ市の指定管理施設としてですね、地元の皆様にご愛顧いただきながら、観光でお越しく下さっている皆様にもご利用いただくと、というようなことでもありますけども、プール・温泉両方あるわけですが、老朽化も進む中で、通常、指定管理施設は5年間の指定管理をお願いしているのですけれど、静の里の場合は、3年間ということで、期限を区切りながら、させていただいてる中で、ちょうど、この年度末に期限が到来するのですけれど、その後をどうするのかということについて、1年間、引き続き、今の状態での稼働をしていくということを議会の方にも、そういった形で承認をいただきながら、1年間は伸ばしていくということなんですが、その1年後どうするのかということについて、いろんな皆様のご意見をお聞かせいただきながら、決めていきたい

というふうに思っております、ご案内の通り、漁港見下ろす絶好のロケーションにあるわけでありまして、どう活かしていくのか。どうするのかという点について、今日は忌憚のないご意見を賜りたいということで、この場をお願いしておるところでございます。

そんなことで、今日は、いろんなご意見をいただきながらですね、反映する形で、静の里の今後のあり方について、検討をさらに進めていきたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

<高橋商工観光部長>

市長どうもありがとうございました。

市長は、ここで他の公務のために退席をさせていただきますので、皆様にご了承いただければと思います。

それでは、本日の会議資料の確認を、まずさせていただきますというふうに思います。

本日の資料ですけども、たくさんちょっとお配りをさせていただいておりますので、資料ナンバー振ってありますけれども、資料ナンバー1番から4番、そして参考資料の番号として①から③までというふうにあります。

まず資料の1番ですけども「浅茂川温泉静の里について」というもの。

それから資料の2番目です。「施設概要について」。

そして資料の3番ですけども、「浅茂川温泉静の里検討ロードマップ案」というものを入れております。

そして資料の4番、「京丹後市観光立市推進会議検討部会委員案」ということで案を入れております。

あと参考資料として、「京丹後市観光立市推進条例」、そして2つ目には、「京丹後市観光立市推進条例施行規則」、そして参考資料3番目、「京丹後市浅茂川温泉静の里条例」ということで、テーブルの方に置かせていただいておりますが、不足の方、もしありましたら、挙手をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、お手元にファイルをお配りをしておりますので、今回の審議についての資料につきましては、本日以降、このファイルに保存をいただきまして、恐れ入りますけれども、各回ご持参賜りたいというふうに思います。

それでは、具体的に会議の方に入っていきたいと思っております。

先ほど、少し市長の方も触れられましたけれども、例年、この会議というのは、年度末に今年度の事業総括をするということで、現状報告をし、皆様からそれに対するご意見をいただくような場でございます。

今回、年度末2回の会議を予定をさせていただいております、その1回目として、本日は、第4次観光振興計画の初年度ということもありますので、皆様から、1つの具体事例について、ご意見を賜りたいということで、本日、静の里についてご意見をいただきたいという場にさせていただいております。

開催の趣旨というのは、先ほど市長もご説明申し上げますが、このような形で本日進めさせていただきたいと思っております。

この観光立市推進会議ですけども、条例に基づきまして、観光振興計画について審議をしてそして推進するための会議ということで、今回の案件の方向性について、皆さんからご意見をいただき、そして、今年の夏ごろを目途に、これがまとまればなというふうに事務局としては考えておるところでございますので、よろしくお願いをいたします。

では、早速、条例第28条の規定に基づきまして、ここからは坂上会長に議長をお世話な
りまして、議事を進めていただきたいと思います。

では坂上会長よろしくお願ひいたします。

<坂上会長>

おはようございます。では議長を務めさせていただきます。

会議に入ります前に、会議録確認者を指名させていただきますので、よろしくお願ひいた
します。

田中智子さん。和田正人さん、お願ひいたします。よろしいでしょうか。

はい。ありがとうございます。

ちょっと一言だけ。今までの会議は、できるだけ女性の方を多くして欲しいというふうに
事務局の方にお願ひしておりました。今日はすごい条件が満足されたなというふうに、私は
ちょっと心の中で喜んでおります。

私、見ていただきましたら、すごく日焼けしてるでしょ。何でだと思いますか。南半球
に、この3週間ほど行って参りまして、海外の実感を、ちょっと一言だけお伝えしたいなと
思います。

オーストラリアとニュージーランドに行って参りまして、非常に暑い夏であります。

2点。1つは、やっぱり環境意識がすごくコロナのあと徹底されてて、自然保護の徹底と
歴史文化を大切にしているということが、非常に実感できました。それぞれの場所では、す
ばらしい博物館・美術館。よくこんなところに、こんな立派なものがあるなど。やっぱり、
国民とか地域の価値感というのが、歴史文化を大切にするということが徹底されていると
いうふうに認識をして、それがまた観光客を引きつけているのではないかなと思います。

もう1つは、やっぱりダイナミズムがすごい。

激しい変化というのを、やっぱりきっちりと受入れるということではないかなと思いま
す。あるところでは、ヘリコプターが着陸したら、次のお客さんが乗って、次またヘリコプ
ターに乗っていく。そのヘリコプターが、休む暇なくずっと飛んでいるんですね。1人3万
円ぐらいするんですよ。平気でみんな乗ってどンドン広域観光してるっていう。それを見
て、ちょっとすごいなと思いました。

それから、人力車ならぬハーレーダビットソンの5人乗りが、バーッと走り回っているん
ですね。日本の人力車より高いので、私ら日本人には乗れないんですけど、そういう新しい
動きも出てきているかなというふうに思います。

ちょっと帰ってきました、日本が、観光鎖国状態に戻ってるような雰囲気になったので、
日本人は非常に少なかったです。

欧米の方中心に、アメリカの方が非常に多かったという印象なので、非常に金払いがいい
のと世間が明るいなど、日本帰ってくるとちょっと天気も悪かったので、少し暗いイメージ
を持っているんですけど。大分世の中が変わって、日本だけが取り残されているような雰
囲気になってしまいました。

そんな中で、今回はですね、静の里という、これも多分、ダイナミズムで考えると、もう
次の新しい何かを考えないといけない時期になってるんじゃないかというふうに思って、感
じております。

ではちょっと着座にて進めさせていただきます。

本日の会議のテーマは、先ほど高橋部長、市長さんからもご案内ありましたように、静の里をテーマに審議をするということでもあります。

改めまして、事務局の方で、この「彩り味わい京丹後」の資料が配られているかと思えますので、施設の活用を考えるに当たりまして、少し私の方から、この関係を説明させていただきたいと思えます。

20ページをお開きください。

ここに観光の課題と方向性が記載をされておりますけれども、例えば、課題1では二季型の観光地の課題があると。

課題2では、異業種交流の連携の不足、市内の周遊、滞在の不足。

課題7では、老朽化した観光関連のインフラ整備といったことが挙げられております。

課題で、今回とかぶっているところがあるということでもあります。

次に22ページをご覧ください。

将来ビジョンについて、今後5年間の計画部分になるわけですが、23ページには、それらの課題を踏まえて、7つの基本方針というものが、掲げられています。

例えば基本方針1では、食の魅力ということで、基本戦略2として地産地消を味わう体験の観光推進。また、基本戦略4は食事処、土産物販売店の充実というものが挙げられています。

基本方針4では、基本戦略2として、ジオパークの活用。食、体験、学びの融合。

基本方針5の基本戦略4では、老朽化施設の整備。

基本方針6では、デジタル技術の活用などが挙げられております。

こういった項目は、あるいは25ページ以降のアクションプロジェクトにも、今後のテーマは通じることがあるかと思えますので、今回を考えるに当たりまして、振興計画との関係を少し私の方から説明をさせていただきました。

次第2、議事が、1、2、3とありますけれども、資料説明は一括してお願いをしたいと思います。その後、それぞれの項目について審議をしていただきます。できるだけ審議の時間を取りたいと思えますので、事務局の方から、要領よく説明をお願いいたします。

よろしいでしょうか。事務局お願いいたします。

<事務局>

ありがとうございます。観光振興課の大江でございます。よろしくお願いいたします。

資料説明の前に、ちょっとこちらの画面です、浅茂川温泉静の里。ひょっとしたらご存じない方がいらっしゃるかも知れませんので、ちょっと画面で、どんなところか確認をさせていただきたいと思えます。

ちょっと遠いのですが、皆さん見えますかね。もしあれでしたら、前の方に椅子を寄せていただいて。見えますでしょうか。

これ、京丹後の全体像の丹後半島が写っておりまして、この赤い旗が立っております、ここに、静の里はございます。網野町の浅茂川というところで、京丹後の海際の、ほぼ真ん中の辺りという、そんな位置になります。

ちょっと寄りまして、ちなみに網野駅がここに白っぽくございます。駅から一見、ちょっと遠いように思うんですが、実は、バイパスがズドンと抜けてまして、このバイパスを混むことなく移動していただくと、もう3分ぐらいで、この浅茂川温泉静の里まで行けます。

少し、浅茂川温泉の周囲を見ますと、目の前に浅茂川漁港がございます。ちょうど漁港を見下ろすような、先ほど市長の言葉にもありましたけど、ロケーションがここには実はございます。小高い丘に、施設が建っていますが、漁港があって、その東側、画面で言う左側ですが、ここ八丁浜という非常にサーファーがたくさん訪れるメッカですけれども、サーフィンができる浜があります。

ちょっとわかりにくいのですが、八丁浜と漁港の間のあたりに、都市公園というものが整備されていまして芝生広場になります。少年サッカーなんか、すごいたくさん大会がここで開かれております。

反対側、西側に目を向けますと、浅茂川漁港のところから山側に向かっていく道路があります。七竜峠という峠を通る、非常に景色の良い、高いところから海を見下ろせる道路が、夕日ヶ浦まで続いているということでございます。

もう少し施設によりますと、どんな外観かと申しますと、これが進入路でございます。この道路ずっと上がっていきますと、残念ながらここまでしか動かさないようではありますが、上から見ると、丸いピンの建っている丸いところが、新温泉棟ということで、現在、使用している温泉です。3階に露天風呂があるという非常に贅沢な造りになっておりまして、海を見下ろす露天風呂です。2階がロビーや食堂とかが入っております。裏手に、ちょっと四角いようなエリアがあります。これ旧温泉等で、今は使われておりません。右側に大きな屋根の建物があります。これが屋内プールということで、25メートルコースが7レーンあります。

そして、ここから見下ろす景色は、ちょっと画面でわかりますかね。現地に行かれた方はよくご存じだと思いますが、漁港がまともに視野に入るということで、伊根の舟屋に行かれた方は比べていただくと、あそこは随分高い場所にありますので、ちょっと距離感があるんですが、ここは本当に目の前ということで景色のよいところでございます。

大体このような施設でございます。そのうえで資料の説明に入らせていただきます。資料1をご覧ください。Zoomの方も、今の画面見えておりましたでしょうか。ありがとうございます。

それでは、資料1でございます。

浅茂川温泉の概要が、ここに書いてあります。

プール棟、旧温泉棟、新温泉棟と、このようなレイアウトになっておりまして、昭和56年の設置から始まって、随分、年数が経っているということであります。

施設の状態ですが、老朽化が著しいということで、直近5年間で、4,200万円ぐらい修繕費がかかっております。

さらに、直せていない現状の不具合箇所としましては、温泉棟の天井ですね。2階のロビー部分の天井いたるところから、雨漏りがあるというような状況です。プールについては、エアコンがなかなか効かないということで、室温が上がりにくい状況があります。それとプールの屋上も、防水シートが傷んできているというようなこともございます。これらを、それぞれ直しますと、数千万という費用が発生するという見込みを立てています。

泉源の湧出ですが、現在、使っている第2泉源は、平成7年に掘りまして、その当時は1分間に270リットル湧いてましたが、それが79%減ということで、現在は56リットルぐらいまで減っているという状況でございます。

利用者については、平成15年がピークでして約20万人、うちプールは約4万5千人、直近の令和4年度では、約5万4千人、うちプールは約1万4千人ということでございま

す。主に温泉利用者の比率としては、大体、観光客が7割、市民の方が3割というふうに指定管理者からお聞きしております。

そして指定管理料は、令和4年度で、3、500万円強ということでございます。

次に、2番の施設の現況ですが、令和3年度に調査を行いました。

専門的な技術を用いて目視点検等でチェックをしたのですが、その下、一番下の評価基準というのがございまして、A、B、C、D、それぞれここに書いてますような評価で表現をされてますが、中ほどの調査結果の表が、プール棟、旧温泉棟、新温泉棟と分かれて記載されています。ご覧いただきますと、外壁なんかは、割合、Bが並んでいますが、設備が全部Dということで、つまり、建物自体は鉄筋コンクリートですのでまだ使えるが、ただし、温泉あるいはプールということで非常にたくさんの設備、配管だとかポンプだとかボイラーだとかいろいろありますけれども、そういったものはもう交換しないといけないという状況にあるということでございます。

ちなみに、それを原状復帰した場合、どれぐらい費用がかかるのかということで見積もったところ、23億円ぐらいかかるということでありまして。原状復帰までは無理でも、解体したら5億円ぐらいとか、小さい規模でそれぞれ直したら、ここにありますような数字がかかってくるということで、非常に多額の経費が見込まれるという状況です。

裏面をご覧くださいますと、この間、そういった状況を踏まえて、我々が3年間検討を行ってきた内容が書かれています。

1にございますように、今申し上げたような復帰するための工事が、非常に多額であるということ、あるいは、浅茂川温泉ができた頃は、久美浜町に民間の温泉が1つ、市内にはそこしかなかったということで、浅茂川温泉が、市内2カ所目の温泉だったということですが、現在では、外湯温泉が増え、7カ所ぐらいあるという状況に変わっております。そういう中で、行政として現状の規模の施設の維持を続けていくことは非常に困難だという判断を、我々はしており、冒頭ございましたように、規模を縮小するのか、あるいは、別の用途に変更するのか、廃止をするのか、いろんな方向について、これから検討して参りたいということでありまして。先ほど坂上先生からございましたように、観光振興計画でいろんな今後のビジョンを持っておりますので、それに合致するような形での検討がいただけたらというふうに考えております。

そして、(2)でございますね、先ほど市長からありましたけれども、12月議会で、あと1年間、指定管理は令和6年度いっぱいという議決を受けておりますので、指定管理が終わるということはすなわち、現状の温泉・プールでの今の状態での運営は、そこで止まるということになります。

3番、今後の予定でございますが、この観光立市推進会議で8月ぐらいまでいろいろご検討いただきたいと考えております。できれば、8月ぐらいに一定の提言みたいな形で、ご意見をまとめていただいて、9月ぐらいには議会に、本会議でこういう取りまとめになりましたというふうに報告がしたいということでございます。10月以降、それを反映する形で、行政として動きたいというふうに考えております。

資料2をご覧ください。資料2は、先ほど画面で映しましたので、場所も大体レイアウトもご理解いただいていると思います。裏面をご覧くださいますと、利用者の推移が、グラフであります。浅茂川温泉以外にも、あしぎぬ温泉、よし野の里、はしうど荘といった市営の温泉が全部で4つございますので、その推移をこのグラフで並べております。

青いグラフ線が浅茂川温泉です。平成18年に指定管理の制度は始まりましたが、実質、平成19年度から指定管理による運営が始まっております。

その頃、14万人ぐらいの利用があったということで、徐々に右肩下がりとなり、途中、大規模な工事を平成28年ぐらいにしたこともあり、利用者数がぐっと減ってきています。すべての温泉が同じような曲線となっています。はしうど荘は比較的均した状態ですが、その他は大体同じような動きとなっています。令和4年度については、温泉利用者が3万9千人、プールの利用者は1万4千人ということでございます。

施設の概要の説明は以上でございます。

資料3をご覧ください。資料3はロードマップ案ですが、先ほど、9月には議会に報告をということを申し上げましたが、この8月ぐらいまでの間、この観光立市推進会議の皆様、このような形でお世話になれないかというものでございます。

左の2月から始まりまして、今日が第1回目の全体会議。この会議では、到達点として、今回、何をご審議いただくかというあたりの確認・共有をお願いしたい。2つ目は、検討部会を立ち上げて、以降、進めたいと考えておりますのでその設置。そして3番目に、スケジュールの確認をいただきたいということで考えています。

翌3月になりまして、第2回目の全体会議を予定しています。この間、実は我々、視察に行っておりますので、その結果についてもここでご報告したいと思っております。また、現在、建設部の方で高速延伸に伴う休憩所の関係で調査業務を行っておりますが、我々も参加しておりまして、その中で観光客に対して定性調査、ヒアリングをしています。「どんな施設があれば、京丹後にもっと来たくになりますか」、「今、車で来る上で、どんなことにお困り事がございますか」というような内容で、観光客、そして宿泊事業者に聞き取り調査を行っておりますので、その結果なんかもここでご報告したいと思っております。もう一つは、令和5年度のローリングとして、進捗管理もここでお世話になりたいと思っております。

その同じ日に、できれば第1回目の検討部会を開催させていただいて、必要であれば現地を確認することも検討し、検討部会としてどこか見に行く必要はないかといった、視察の検討なんかもここでさせていただきたいと思っております。

4月に入りまして、ここから検討部会で、具体的な検討を行うこととなります。第2回目の検討部会の到達点としては、各関係者を検討部会の場に招いてヒアリングしたいと思っております。例えば、地元の方々、施設は温泉ですので、住民福祉という観点で地元の区長さんであったり、あるいは高齢者の方が、ご利用いただいていると伺っておりますので、老人クラブの関係者であったり、観光事業者であったりお招きしてヒアリングしたいと考えています。

5月ぐらいに、可能であれば視察に行く。

6月には、第3回目の検討部会ということで、その視察の結果やヒアリング結果等、分析しつつ、提言書の素案みたいな形であらかたの方向づけが出せないかなと思っております。

そのあと、検討部会で作っていただいた素案に対し、パブコメを行い、市民の皆さんのご意見を伺いたいというふうに考えております。

7月に第4回、最後の検討部会ですが、パブコメの結果も踏まえ、翌月の全体会議に送る内容整理をお願いしたいと思っております。

8月に、第3回目の全体会議を開催し、市へ提言していただく形を整えていただくというような流れでスケジュールを考えております。

10月から2月のところに、箱が縦に4つ並んでおりますが、休廃止や用途変更であったり、企業の誘致や規模縮小など、いろんな方向性があると思いますが、観光立市推進会議として、第4次観光振興計画に基づいてこの施設はこういう方向性が望ましいのではないかとというような形でまとまればありがたいと考えております。

最後に資料4は、委員様の名簿です。この後、検討部会の関係をご議論いただく際、お使いいただきたいと思います。

資料の説明は以上です。

<坂上会長>

ありがとうございました。ただいまの資料の説明に対しまして、ご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

実は、私も昨日、静の里のお湯に浸って参りました。非常に景色はいいなと思いましたが、さすがに、施設の老朽化は、否めないなと言う感想を持ちました。プールの方で、子供たちが、一生懸命スイミングスクールでしょうか、泳いでおられる姿は何とか残したいなという気持ちになりましたけど、別のところで代替できるのであれば、それでいいのかなという気もいたしました。そんな印象を持ちました。皆さんも、日頃お目にかかることがあるかと思しますので、今日の議論に、ぜひ有効に活用いただけたらと思います。

では、議論に入りたいと思いますが、今回かなり具体的なテーマを検討するというので、従来のお1人、1～2分ずつしゃべっていただくような形ではなく、3つぐらいのグループに分かれて、自由に意見を言っていただくような形をとりたいと思います。

以後の検討は、検討部会を立ち上げて、それぞれ議論をしていくということでございますので、それぞれのグループに検討部会委員さんに入ってください、各グループの意見の集約をお願いして、次回の検討部会に持ち寄っていただくという方式を、今日とはらせていただきたいと思しますので、今日は忌憚なく、ご意見を各テーブルでおっしゃっていただきたいと思します。

最初に、検討部会ですね。今後、何回かこのテーマで検討する委員さんを、この中から決めさせていただきたいと思しますが、規則によりまして、「検討部会は会長及び委員7名以内で構成する」とあり、「副会長及び推進会議の委員の中から、会長が指名する」となっておりますので、私の方から指名させていただきますが、よろしいでしょうか。

では、最初に、副会長の田中さんにお世話になりたいと思します。その他の方としては、観光団体を代表して、今日のご欠席のようですけれど夕日ヶ浦観光協会の浅田さん。それから、関係団体からは、商工会観光業協会の松本さん。それから海業振興協議会の松尾さん。観光事業者からは、株式会社リクルートの前田さん。同じくANAあきんど株式会社の久田さんを指名させていただいて、私を合わせて、計7名での設置をしていきたいと思します。

その後、この7人で検討部会が立ち上がって、検討していくということでございます。

それでは、今日はグループに分かれて事務局の方から、グループ分けの提案をお願いをしたいと思します。どうぞお願いします。

<事務局>

すでに、今日はこのような会場レイアウトにさせていただいておりますので、今お座りいただいている3つのグループということでお世話になりたいと思します。こちらのテーブルは、

今、お二方しか座っておられませんが、オンラインでご参加の3名様にもこちらに加わっていただくということをお願いしたいと思います。

<坂上会長>

では、概ね1時間程度、グループディスカッションをお願いします。

ワークショップではありませんので、出た意見について、終了後この場で発表していただくという機会は設けておりませんので、自由にご意見を仰っていただければと思います。

では、分かれて、ディスカッションをお願いします。

席の移動が、必要な人はお願いしたいと思いますし、各テーブルの進行については、少し事務局の方からお手伝いをしていただいても結構かなと思います。

田中さんはどちらに移動したらいいですか。はい、元の場所で。

— グループディスカッション —

<坂上会長>

予定の時間が参っておりますので、全体のまとめの時間に入らせていただきたいと思います。

今日は、従来と違うグループに分かれてのディスカッションができて、非常に多くのご意見をお伺いすることができてよかったんじゃないかなというふうに自画自賛をしております。本日出たご意見は、各グループの検討部会委員さんから、次回の検討部会でお聞かせいただきながら、さらに検討を進めて参りたいと思います。

他のテーブルではどのような議論があったか、ご意見が出たかは定かではありませんが、私の方では、やはり場所の個性とか、網野の個性とか、こういったものをやっぱり大切にしていかなければいけないんじゃないか。

全国の人を惹きつけるための施設にするには、やはり個性が必要だというふうに感じたのと、ターゲットを、ある程度利用者を想定していかないといけないので、八丁浜のサーファーの人、あるいは、海水浴に来た方々が、どのようにここを利用するのかと。

それから、市民の方々の、福祉的利用もやはり重視しておかないといけないというご意見も出ました。

漁港との関係もすごく重要だということで、遊船ですね。釣り客の人たちとの連携も、考えておかないといけないのではないかなというようなことを少し感じました。

あと、事務局への提案ですが、やっぱり浅茂川漁港が非常に間近に見えております。立地条件からいっても、この漁港の活用というのも非常に重要な資源ではないかなというふうに思いますので、今後の議論の進め方として、漁港や漁業関係者のご意見を交えて、議論をしていただいたらどうかなと思いますが、事務局、そんな感じでよろしいでしょうかね。

<事務局>

はい。私がおりましたテーブルの皆さんからも、海業という言葉もありましたし、どういった方が適任か、そういう方をこの場に参画していただけるか含めて、ちょっと調整させていただきます。

<坂上会長>

ではよろしく願いいたします。

最後に、今日のですね、次第の議事の3つ目のロードマップにつきまして、先ほど事務局から説明がありましたけれども、これについて何かご意見ございますか。今後の予定のスケジュールですけれども。

ご意見特になさそうですので、概ねこの案に沿って、今後進めていくということで皆さんにご確認いただきたいと思っておりますがよろしいでしょうか。ありがとうございます。

以後の開催日時につきましては、事務局でまた、調整をしていただくことにしたいと思います。よろしいでしょうか。

今日の議事は以上でございます。

本当に、3つのテーブルに分かれて、皆さんそれぞれ自由にご発言をいただく機会になりまして、活発な議論、大変ありがとうございました。マイクを事務局にお返しします。ありがとうございます。

<高橋商工観光部長>

坂上会長どうもありがとうございました。

また、委員の皆様、大変参考になる意見、貴重な意見、たくさんいただいたというふうに思っております。これまでの観光立市の、この会議の中では、一方的に事務局から説明をし、それに対してご意見をいただくという形で来たんですけれども、今日は少し会長からも意見をいただいて、このような形でさせていただいたわけですが、ざっくばらんにお話する機会としては、非常にいい方法だったなというふうに思っております。率直に皆さんお話をいただきましたし、そのことによって、今後の展開、どんなことをしていくのか、どんなことを考えていくのか、そういった1つのきっかけをいただいたかなというふうに思っております。ありがとうございました。

特に、この検討部会で中心となって、意見集約をいただくわけですが、この委員お世話になる方につきましては、今後、ほぼ毎月のように、出席をいただいて、会議を開いていくということになりますが、大変ご負担をおかけするんですけれども、ぜひ、ご意見をまとめていただけるとありがたいというふうに思っております。

では、次第の最後ですけれども、その他ということで、せっかくの機会ですので、皆様から情報提供をいただければというふうに思っております。よろしく願いいたします。

<委員>

皆さんのところに、やさしい日本語研修会というチラシが、お配りしてあると思うのですが、来週2月27日の火曜日に、ここで、こういう研修会を行います。

京丹後市に、たくさん外国人の方も訪れますし、実際に、地元で働いておられる方もたくさんおられるんですけれども、日本語は大体上手に話されるんですけれども、日本語って私も教えててもすごく難しい。特に、尊敬語とか謙譲語とか、回りくどい言い方とか、そういうのが、もうなかなかわからなくて伝わらない。だから、そういう人たちに、誰にでもわかりやすいようにした日本語を話す。だから、わかってもらえないではなくて、お互いに配慮して、素直にしっかり伝わるような、やさしい日本語はどういうふうに話したらいいのか

という、そういう研修会ですので、ぜひ皆様にも参加していただいたり、関係の方に宣伝していただければと思います。

2月27日ということで、今日までに報告ということですが、まだまだ大丈夫ですので、特に皆さんにお知らせしたいと思いますので、また参加よろしく願いいたします。ありがとうございました。

<高橋商工観光部長>

ありがとうございました。

その他、皆様方から。

<坂上会長>

すみません。3月6日に、丹後語りべの会という発表会を行いますので、ここにも会の会員の方おられるんですけど、ぜひご参加ください。以上です。

<高橋商工観光部長>

ありがとうございます。その他、皆様方から何かございますか。

<委員>

モニターから失礼します。スイス村山頂に、クラフトジンの蒸留所が、無事完成いたしました。4月6日にお披露目しようと思っております。その時には、皆様に飲んでいただける薬草・薬樹の長寿のジンが完成しておりますので、また、お知らせ等しますが、是非、ジンが、京丹後にできたんだなと思っていただけたらと思います。よろしくお願いたします。

<高橋商工観光部長>

ありがとうございます。その他。はい。どうぞ。

<委員>

すみません、KISSUIENです。ただいま休館させていただいてまして、絶賛工事中なんですけれども、3月末に、大体の工事が終わってまして、4月の2週目、8日以降ぐらいから一般のお客様を受け入れするような形で、今準備しております。工事自体は、ゴールデンウィークぐらいまで、ちょっとLoftルームでしたりとか、新しい客室もできますのでちょっとかかってくるんですけども、今、休館している関係で、調理の方で、黒松の料理は、提供していますので、その作ったりというところを、旧ギキルで行ってまして、ギキルの方で、週末金土日だけは、朝食ビュッフェの延長を、ランチでも今しておりますので、またよろしければ、ぜひお越しくください。

<高橋商工観光部長>

ありがとうございます。その他ございますか。

<委員>

丹後王国からですけども、先月からですが、京都銀行さん、NTTデータさんとともにですね、スタートしました「T a n g o P a y」という地域通貨、アプリがもうダウンロード

ードできます。先着にはなりますが、1万名様までは、丹後王国にお越しいただくと、500円のプレゼントがございますし、ここにいらっしゃる事業者の皆様にもご協力いただき、クーポンを出していただいたり、情報を提供いただいたりということで、市民の皆様にも活用いただけますので、是非、アプリダウンロードよろしくお願いします。「T a n g o P a y」です。よろしくお願いします。

<高橋商工観光部長>

ありがとうございます。その他ございますか。大体よろしいですか。
では、最後に事務局の方から少しお伝えさせていただきます。

<事務局>

はい、すいません。2点だけお願いします。

1つは、次の3月の全体会議ですが、令和5年度の進捗管理の部分が半分、本日のテーマが半分ということでお世話になりますので、進捗管理の資料は、当日、資料説明してる時間が多分ないと思いますから、事前に送付させていただきますので、誠に恐れ入りますけれども、事前にお目通しをいただけたらなと思っています。

2つ目ですが、会議終わりましたら、検討委員の皆さん、ちょっとこの場にお残りいただきたいと思います。以上でございます。

<高橋商工観光部長>

ありがとうございました。それでは、本日は、これで閉会というふうにさせていただきますと思います。

閉会にあたりまして、田中副会長から、閉会のごあいさつをいただきたいと思います。

<田中副会長>

皆さん、ありがとうございました。

今日は、ざっくばらんに、和気あいあいとお話できましたので、大変良い時間をいただきました。坂上先生には、本当にもう、随分長いこと、お世話になってまして、それこそ本当に語りべの方で、3月6日のご案内いただきましたけれども、環境と、先ほど歴史と文化と言われました部分で、いっぱいコンテンツが詰まっていますので、この会議をきっかけに、またいろんな情報を拾っていただいて、ぜひこの会議でまた活かせるような会議に持っていけたら良いかなと思っています。本日は、皆様ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。失礼いたします。

<高橋商工観光部長>

ありがとうございました。

それでは、これもちまして、令和5年度の第1回になりますが、京丹後市観光立市推進会議を終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。